

平成24年度 第3学年 美術科 シラバス

月	章・単元	学習内容	時間	達成目標	主な評価方法	観点	観点	観点	観点
						①	②	③	④
4	鑑賞	オリエンテーション 「時代を映す美術」	1	多様な表現方法があることを知り、その作品の特徴を発見し、作品が生まれた背景を知る。	鑑賞プリント	○			○
5	絵・彫刻	明暗を現す いろんな手を描こう	7	鉛筆で明暗の段階を塗り分けることができる。モチーフの形を正確に描き、明暗を表現することができる。	作品	○	○	○	
9	デ・工芸	見え方の不思議	8	現実にはあり得ない不思議な視覚の世界を知り、文章で表現することができる。立体的な空間を、形や色で表現することができる。	作品 鑑賞プリント	○	○	○	○
10	絵・彫刻	水彩画で描いてみよう。	10	にじみやぼかし、その他の技法を自分なりに工夫し、表現することができる。風景や果物などの日常的なものを描いてみる。	スケッチブック 作品 鑑賞プリント	○		○	○
2	デ・工芸	万華鏡「不思議なぞき箱」	8	いろんなタイプの万華鏡があることを知り、その特徴を理解して、自分だけの万華鏡を作ることができる。	作品 鑑賞プリント スケッチブック	○	○	○	○
3	鑑賞	画家の人生	1	人の生きる道と、美術との関わりについて考える。	鑑賞プリント	○			○
合計時数			35						

観点①関心・意欲・態度

観点②発想や構想の能力

観点③創造的な技能

観点④鑑賞の能力

第3学年 美術科の評価規準

観点① 美術への関心・意欲・態度

- 美術の創造活動の喜びを味わい、感じ取ったことや考えたことを表現することに関心を持ち、主体的に心豊かな表現の構想を練ったり材料や用具の特性を生かしたりしようとしている。
- 美術の創造活動の喜びを味わい、目的や機能を考えて表現することに関心を持ち、主体的に造形的な美しさなどを総合的に考えて構想を練ったり材料や用具の特性を生かしたりしようとしている。
- 美術の創造活動の喜びを味わい、身の回りの造形や美術作品、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などに関心を持ち、主体的に見方や理解を深めようとしている。

観点② 発想や構想の能力

- 感性や想像力を働かせて、対象を深く見つめ感じ取ったこと、考えたこと、夢、想像や感情などの心の世界などを基に、主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。
- 感性や想像力を働かせて、目的や条件、伝えたい内容、使用する者の気持ちや機能などを基に形や色彩の効果を生かして造形的な美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。

観点③ 創造的な技能

- 感性や造形感覚などを働かせて、材料や用具の特性を生かし、自分の表現意図に合う新たな表現方法を工夫したり、制作の順序などを総合的に考え見通しをもったりしながら、創造的に表現している。

観点④ 鑑賞の能力

- 感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り味わったり、生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化などについての理解や見方を深めている。